

平成28年度行政事業レビューシート

( 内閣官房 )

事業名		健康・医療戦略経費		担当部局庁	内閣官房副長官補			作成責任者		
事業開始年度	平成24年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	健康・医療戦略室			企画官 補佐	堀内 直哉 難波 雅善	
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	健康・医療戦略室の設置に関する規則(平成25年2月22日内閣総理大臣決定)			関係する計画、 通知等	健康・医療戦略(平成26年7月22日閣議決定)等					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療イノベーション(医薬品・医療機器や再生医療をはじめとする最先端の医療技術の実用化等)を促進し、国際競争力の高い関連産業を育成するとともに、その成果を国民の医療・健康水準の向上に反映させるための施策を集中的かつ計画的に推進するための検討に資する。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国際競争力の高い医療関連産業を育成するとともに、その成果としての医療を国民に提供するため、革新的な医薬品、医療機器及び再生医療、個別化医療の実用化等の検討に必要な基礎調査等を実施。									
実施方法	委託・請負									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
		計	16	21	22	32	101			
	執行額	14	17	21						
	執行率(%)	88%	81%	95%						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
	-	-	成果実績	-	-	-	-	-		
	-	-	目標値	-	-	-	-	-		
	-	-	達成度	%	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							<input type="checkbox"/> チェック			
定量的な成果目標 の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と25~27年度の達成状況・実績						
	調査を実施する事業のため、定量的な成果目標の設置は困難である。			健康・医療戦略(閣議決定)の着実な推進を図るため、本事業により健康・医療戦略の推進にあたっての課題等が適切に検討、解決されることを目標とする。平成25~27年度においては、医療のICT化に関する課題等を検討・対応した。なお、平成28年度以降については、昨年度同様に、健康・医療戦略のフォローアップを実施していく予定。						
	代替目標	代替指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 30 年度	目標最終年度 - 年度		
	次世代医療ICT基盤協議会等を活用し、外部有識者の指導・助言の下、関連資料の調査・整理や調査結果の周知を実施する。	次世代医療ICT基盤協議会及び医療国際展開タスクフォースの開催回数(計)	実績	回	2	4	6	-	-	
		目標値	回	2	2	4	4	-		
		達成度	%	100	200	150	-	-		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	委託調査の数			活動実績	本	1	1	1	-	
				当初見込み	本	1	1	1	2	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	調査に必要な経費(円) / 調査実施件数(本)			単位当たり コスト	円	14,126,620	16,909,283	20,763,435	15,982,000	
				計算式	円/本	14,126,620/1	16,909,283/1	20,763,435/1	31,964,000/2	

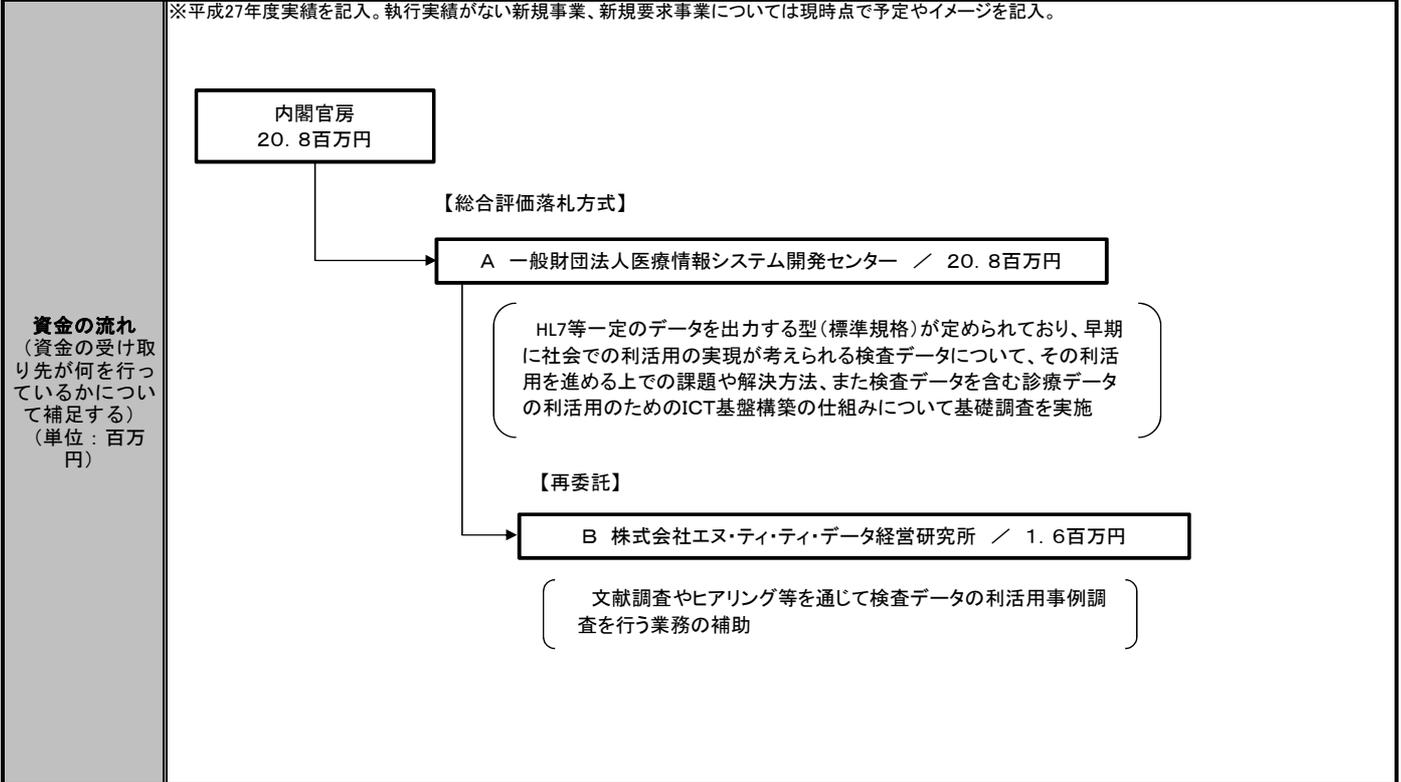
平成28・29年度予算 内訳（単位：百万円）	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由
	健康・医療戦略推進調査委託費	32	101	「新しい日本のための優先課題推進枠」75百万円
	計	32	101	

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策							
		施策							
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標年度 年度
			実績値						
			目標値						
		定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)				
					施策の進捗状況(実績)				
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								

経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:							
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 年度	27年度	28年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
		成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 年度	27年度	28年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
		成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
	本事業の成果と改革項目・KPIとの関係								

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	高齢化が急速に進む社会において、国民の医療・健康水準の向上はニーズが高く、リスクの高い最先端の医療技術の実用化等に資する調査は国が実施すべきである。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	健康・医療戦略の着実な推進を図る目的で行う、リスクの高い最先端の医療技術の実用化等に資する調査は国が実施することが適当である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	当該事業は、健康・医療戦略の着実な推進のための施策であり、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○		
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		有	総合評価落札方式を実施しており、資金の流れ、使途等の適正化の確保に努めた。 なお、総合評価方式入札において、結果として一者応札となっているが、十分な入札公示期間を確保しており、競争性は確保されているもの。	
		競争性のない随意契約となったものはないか。	無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単当たりコスト等の水準は妥当か。		○	平成26年度に比して平成27年度は単当たりコストが増加しているが、各年度での調査研究の内容は毎年見直していること、また、当該調査研究の内容が専門的・複雑であり、かつ、調査対象が広範囲であることから、妥当な範囲と認められる。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	資金は直接委託先に支払われており合理的と認められる。また、再委託については、「公共調達適正化について」に基づき審査を行い、適正かつ合理的なものとなっている。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	総合評価落札方式を実施しており、評価段階において使途等の適正化の確保に努めている。	
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	事業の仕様書検討段階から、効率化に配慮している。加えて、総合評価落札方式を実施しており、個々の事業内容を評価する段階においてもコスト削減や効率化等に努めている。		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	先進事例や課題等を収集したことにより、調査結果は今後の施策や戦略の策定・実施等に必要有益な情報となった。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	他の手段・方法による事業の実施は合理的ではなく、また、事業実施にあたっては一般競争入札(総合評価方式)による等適正な執行となるよう努めている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績にあたる調査結果は、今後の施策や戦略の策定・実施等に必要有益な情報となっており、見込みに見合ったものである。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	調査結果は、健康・医療戦略の推進のため、具体的な個別施策や戦略の策定・実施等に有益な情報として活用している。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	本事業(事業名:「医療・介護・健康分野のICT基盤」)における検査データの利活用に関する基礎調査)については、例えば、全国的な調査の実施にあたり、現地へ調査員が訪問する時期を学会の時期に合わせて効率化を図る、電話・電子メール等を活用するなど、効果的・効率的な調査の実施となっている。入札にあたっては、一般競争入札(総合評価落札方式)を実施しており、資金の流れ、使途等の適正化の確保に努めた。			
	改善の方向性	今後とも効果的・効率的な予算の執行に努めていく。			
外部有識者の所見					
平成25年対象					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現 状 通	年々、単当たりコストが増加している中、平成28年度においても対前年増額の予算が確保されていることから、引き続き、調査の効果的・効率的な実施方法を検証していくとともに、活動指標を「委託調査の数」以外に調査結果等、事業の大宗を占める委託調査で得られた成果を活動実績に対して単当たりコストを評価する等の検討を行うこと。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現 状 通 り	所見を踏まえ、今後とも引き続き効果的・効率的な予算の執行に努めていく。活動指標については、委託調査期間内の活動実績を適切にとらえることが可能な指標等、より合理的かつ適切な指標があれば見直すこととする。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	新24-0001
平成25年度	0007	平成26年度	0006	平成27年度	0008

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



費目・使途 ("資金の流れ"においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.一般財団法人医療情報システム開発センター			B.(株)エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	「医療・介護・健康分野のICT基盤」における検査データの利活用に関する基礎調査	19.2	調査費	「医療・介護・健康分野のICT基盤」における検査データの利活用に関する基礎調査補助業務	1.6	
外部委託	「医療・介護・健康分野のICT基盤」における検査データの利活用に関する基礎調査補助業務	1.6				
計		20.8	計		1.6	

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

**支出先上位10者リスト**

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	一般財団法人医療情報システム開発センター	9011105004983	「医療・介護・健康分野のICT基盤」における検査データの利活用に関する基礎調査	20.8	総合評価入札	1	97.4%	-

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所	1010001143390	「医療・介護・健康分野のICT基盤」における検査データの利活用に関する基礎調査補助業務	1.6	-	-	-	-

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック